

平成28年度第2回白馬村総合教育会議

日 時 平成29年1月20日（金）

午後6時00分から

場 所 白馬村役場3階 全員協議会室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) 平成29年度予算編成について

(2) 教育委員会事務局に係る機構改革について

(3) その他

4. そ の 他

5. 閉 会

白馬村教育委員会に対する事務委任及び補助執行に関する規則（案）

〔平成29年1月 日〕
白馬村規則第 号〕

（趣旨）

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の2の規定に基づき、村長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任し、又は教育委員会の事務局職員に補助執行させることについて、必要な事項を定めるものとする。

（委任事務）

第2条 村長は、次に掲げる事務を教育委員会に委任する。

- （1）子育て支援に関すること。
- （2）保育園及び認定こども園の運営に関すること。
- （3）児童福祉に関すること。
- （4）所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。

（補助執行事務）

第3条 村長は、次に掲げる事務を教育長に補助執行させるものとする。

- （1）教育委員会所掌の予算の執行に関する事務
- （2）総合教育会議で定める大綱の策定に関すること。
- （3）総合教育会議に関すること。
- （4）次世代育成行動計画に関する事務
- （5）子育て支援事業の総合調整に関する事務
- （6）子育てに関する相談窓口に関する事務
- （7）児童福祉施設等の調整に関する事務
- （8）保育園の入退所に関する事務
- （9）保育負担金の徴収に関する事務
- （10）児童福祉に関する事務
- （11）児童福祉費補助金に関する事務
- （12）児童虐待に関する事務
- （13）母子福祉に関する事務
- （14）児童扶養手当に関する事務
- （15）児童手当に関する事務
- （16）私立幼稚園就園補助金に関する事務

(17) 私立高等学校生徒奨学補助金に関する事務

(18) その他子育て支援に関する事務

(補則)

第4条 この規則の施行について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

タブレット型コンピューター導入の成果について（報告）

1 2学年の生徒の学習成績（NRTテストの結果）

○偏差値

	1年時 (27年4月)	2年時 (28年4月)	27年度2年生 (現3年生27年4月)
総合	49.0	51.5 (+2.5)	51.0
国語	50.3	51.9 (+1.6)	51.7
社会	48.8	52.2 (+3.4)	50.5
数学	49.2	50.8 (+1.6)	50.5
理科	47.8	47.6 (-0.2)	48.1
英語	—	55.1 (—)	54.5

- ・国語、社会、数学の偏差値が向上。理科が少し下がった。
- ・総合の5段階分布は、「評定1の人数」が1年時10人だったのが2年時6人に減少。また、「評定2の人数」が1年時23人だったのが2年時19人に減少した。このことから、成績下位の生徒の得点力が向上し、全体的に底上げがなされたといえる。

(考察)

- ・偏差値が向上したことや成績下位の生徒の向上がみられることから、タブレットの活用と協同的な学び（グループ学習）は、生徒の学習意欲を向上させ、個別学習を確立させるのに役立っていると考えられる。

○各教科の観点別集計（値は全国比）（全国比10ポイント以上上昇に網掛け）

		1年時 (27年4月)	2年時 (28年4月)	27年度2年生
国語	話す・聞く能力	99	100 (+1)	99
	書く能力	98	110 (+12)	109
	読む能力	110	113 (+3)	113
	言語 知識・理解・技能	100	108 (+8)	106
社会	社会的な思考・技能・表現	98	111 (+13)	101
	資料活用の技能	91	107 (+16)	96
	社会的事象 知識・理解	100	106 (+6)	104
数学	数学的な見方や考え方	96	100 (+4)	102
	数学的な技能	99	104 (+5)	101
	数量や図形など知識・理解	95	106 (+11)	103
理科	科学的な思考・表現	93	100 (+7)	94
	観察・実験の技能	98	95 (-3)	94
	自然事象 知識・理解	96	90 (-6)	96
英語	外国語表現の能力	—	121	118
	外国語理解の能力	—	110	112
	言語や文化 知識・理解	—	111	107

- ・国語、社会、数学の全ての観点で、昨年の全国比の数値を上回った。
- ・社会科の伸びが大きい。特に「社会的な思考・技能・表現」「資料活用の技能」の2観点は現3年生と比較してみると、「社会的・・・」が+10、「資料活用・・・」が+11と、顕著な伸びを示している。

(考察)

- ・タブレット活用、協同的な学びにより、生徒の学力の向上が見られる。
- ・社会科の「社会的な思考・技能・表現」「資料活用の技能」の2観点は、現3年生と比較した中でも特に数値が向上しており、2年生がタブレットを活用してきた効果が現れていると言えそうである。

2 タブレットを使った授業に関する生徒アンケートの結果(平成28年7月2年生73名回答)

アンケート1 タブレットを使うことは？

- ア よい—40名(54.8%) イ まあまあよい—30人(41.1%) ウ あまりよくない—3名(4.1%)
- エ よくない—0名(0%)

・「よい」「まあまあよい」と答えた理由

- ・分からないことや言葉をすぐ調べられるから・すぐ分かるから・教科書より詳しく調べられるから(48名)
- ・ミライシード(掲示板)で、意見を述べられるから・意見を比較共有できるから(11名)
- ・タブレットが使えるようになるから・社会に出て役立つから(7名)
- ・eライブラリー(学習教材)で、復習に使えるから(6名)
- ・文字がわかりやすく表示できるから(2名)
- ・現代っぽいから(1名)

・「あまりよくない」と答えた理由(3名の生徒回答原文)

- ・タブレットを使って授業集中できなくなる人がいるから。
- ・使いづらい。
- ・勝手に使う人が出てくるから。

アンケート2 タブレットを使う良い点に○をつけてください。(いくつ○をつけてもよい)

- ア 疑問に思ったことをすぐ調べることができる—69名(94.5%)
- イ 動画をみて自分の動きを確認できる—49名(67.1%)
- ウ 考えをうってまとめることができる—41名(56.2%)
- エ 自分の考えを学級に発表したり、友達に知らせたりすることができる—32名(43.8%)
- オ ノートに書かず、うったことを記録しておける—15名(20.5%)
- カ 友達と調べたことを見せ合い一緒に考えることができる—37名(50.7%)
- キ 自習ができる。自分でドリルができる—54名(74.0%)
- ク その他((書いてください)—1名(1.4%)「写真を撮って記録できる」

アンケート3 タブレットを使った授業で、「よくできた・よくわかった」ときの勉強の様子を教えてください。(全237事例の回答あり)

【主体的な学習により学びが深まったと思われる生徒の声を抜粋】

(国語) 作文などの打ちこみが簡単にできる。

(国語) 大嫌いだった文法をタブレットで調べたら少しできるようになった。

(国語)・・・意見文を調べる時はインターネットを使って調べたいものを調べられた。

(社会) 中学生向けのような簡単なサイトもあるし、更に知りたい時は難しいサイトをどんどん調べられる。

- (社会)・・・意味がわからないところを調べることに使って、その言葉の読みがながわかったりした。
- (社会)・・・教科書にのっていないことも書いてあってとても興味深かった。
- (理科) 図を作る時に、図の一部をカーソルで動かして簡単に図を作ることができた。
- (理科) 授業で必要なサイトを使って授業ができた。
- (理科) 実際にどのような感じかわかった。
- (体育) リレーでバトンパスを動画で撮って、どこがだめだったのかがよくわかった。
- (体育) 自分の動きを動画で撮って、良い点悪い点を見つけられた。
- (体育)・・・陸上選手がどのようにバトンパスをしているのかわかった。
- (技術) レポートに写真を張り付け、見やすいものにできた。
- (技術) 初めて聞いたものや、知っていたけど意味はあまり知らなかったものを知ることができた。
- (技術) 分からない言葉を調べて、ほかのものとの違いに気づいた。
- (技術)・・・先生のお手本を見たりするのを自分のペースで見られたのはよかった。
- (英語) 春休みの思い出に…あった写真を探した。いいものを見つけられた。
- (総合) しろま学習のまとめをパラポイントで簡単にできる。
- (総合)・・・PPを作るときに写真などを使って、アニメーションを加えられるので、楽しかったし良いものができた。
- () メガネを忘れた時にタブレットで黒板を撮ってズームしてノートに写せた。

アンケート4 タブレットを使う学習で、困ることがあったら書いてください。

- ・PCのトラブル(起動しない・反応しない・動きが遅い・充電が切れる)(11名)
- ・保存ができなかったことがある、保存先を忘れる、ファイルが消える(5名)
- ・使い方を忘れる、操作がわからないことがある(5名)
- ・遊ぶ人がいる、ゲームをしている人がいる(2名)
- ・みんなが揃うのに時間がかかる(1名)
- ・目が疲れる(1名)
- ・1人1台ないと困る(1名)
- ・書いた方が速いことがある(1名)
- ・「調べる。」ことだけに利用すべき、簡単に変換で漢字が分かってしまう。書かなくなるので覚えなくなる(1名)
- ・学校内で使えない場所がある(1名)

アンケート5 教科でこんな使い方をしたらきっと勉強になるだろうという使い方があったら、書いてください。

- ・もっともっといろんなことに使うべき。
- ・空いた時間に自習で使う。数学で余った時間にドリルをやる。(2名)
- ・音楽でユーチューブ等を使っていろいろな曲を聴く。
- ・音楽で合唱の動画を取り、表情や口の開け方を確認したい。
- ・プリントはかさばるので、ドリルを全てタブレットで行う。
- ・ミライシードをもっと使い、全員の意見を全員が見られるようにする。数学で意見を集約して一緒に考えたい。(2名)
- ・簡単なプレゼンを作り、1つのことについて検討する。
- ・各教科の問題とかがでたときに、みんなの答えをテレビに映して、合っているものと合っていないものに分けたり、相談したりする。
- ・美術で現代デザインなど自分が興味のあるものを掘り下げて調べられたら楽しいと思う。
- ・英語でスカイプ等を使って外国人と話をするなどできないだろうか。

- ・映像の編集をできたらおもしろいと思う。
- ・全校生徒で意見を共有できる場所。
- ・自分の意見を書きみんなに伝えること。
- ・数学のグラフ・図形をタブレットでわかりやすく見やすくしてほしい。2
- ・理科の実験を動画で撮っておき、まとめの時にその動画を使い確かめる。
- ・文や意見の蓄積をする。
- ・選択肢ばかりでなく、自分でペンを使って自分の知識の中で答えを出し、その答えの漢字などを書いて覚えられるので、国語の他に自分で答えを書く問題をタブレットに入れた方が、テスト対策によいと思う。
- ・国語で文法専用の問題をやる。
- ・体育でその時の単元についての動画をみて、真似することで更に技術が向上する。
- ・社会で出てくる建造物を調べる。
- ・社会で班で考えていることに対しての自分の考えを書くようにする。
- ・英語でワークシートをタブレットでやればよい。
- ・数学でエクセルを使った図形の勉強。
- ・英語で発音を分かりやすく聞き取る。
- ・解説教材をあらかじめ開いておいて、分からなかったらそれを見て、それでもわからなかったら先生に聞いたりする。

◎アンケートの考察

- ・生徒たちはタブレットを活用した学習をたいへん肯定的に受け止めその良さを感じている。また勉強を振り返る記述から、タブレットは主体的な学習を促進していることがよくわかる。
- ・タブレットを使う良さについて回答の多かったのが、分からないことをすぐ調べることができること。動画を撮って学習に生かせること。自習(復習)ができること、だった。
- ・困ることとして、機械のトラブルをあげた生徒が多かった。支援員にすぐ対応してもらったり業者にすぐ手配したりするなどしてトラブルの解消に努力したい。
- ・アンケートの「5」で生徒に活用方法を提案してもらった。職員の研修で扱い、タブレット利用の参考にしていきたい。

3 タブレット活用の成果と今後の活用について(まとめ)

- ・タブレットの活用は、生徒の学力向上に効果がある。特に学力下位の生徒の学力向上に有効である。生徒へのアンケート調査からも、タブレットを活用した授業を生徒が望んでいることがわかった。タブレットの活用場面を増やしていきたい。目標を「タブレットの毎時間利用」におき、実践したいと考える。
- ・現在タブレットを班で1台共同利用することがあるが、コンピューターに堪能な生徒が独占してしまい、タブレットの操作をただ見ているという生徒がでてしまう。個別に調査学習をするためには全員が所持するのが望ましい。
- ・今後、自習やドリルで利用したり、毎時間の授業の振り返りでタブレットを利用したりしていきたい。そのためには1人1台所持することが望ましい。
- ・ICTの活用には職員の研修がかかせない。校内研修、業者による研修、先進校の視察等、研修を重ねて、最終目標である21世紀型能力の育成につながるようタブレットを活用していきたいと考える。